

2024年10月11日

第55回（2024年度）「博報賞」受賞者決定

公益財団法人 博報堂教育財団は、第55回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

本年度は、博報賞8件、功労賞6件、奨励賞4件が選出されました。なお、第55回「博報賞」贈呈式は、本年11月8日（金）、日本工業倶楽部（東京都千代田区）にて、実施予定です。

■「博報賞」とは

「博報賞」は、児童教育現場の活性化と支援を目的として、財団設立とともにつくられました。「ことばの力を育むことで、子どもたちの成長に寄与したい」とそんな想いを核として、日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。

また、その成果の共有、地道な活動の継続と拡大の支援も行っています。

■賞の内容

日本国内在住の6～15歳（特別支援教育は4～18歳）の子どもたちに対する「国語・日本語・ことばの育成に関わる教育実践」と、「特別な配慮や多様なニーズのある子どものコミュニケーション活動を支援する教育実践」を軸に、「国語教育」「日本語教育」「特別支援教育」「日本文化・ふるさと共創教育」「国際文化・多文化共生教育」「独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動」の6領域に関連する活動を贈賞対象としています。

推薦資格を有する第三者（各自治体の教育長、学識経験者など）により推薦を受けた候補者の中から、審査委員会（委員長：成田 信子 國學院大学教授）において選考・決定されます。

博報賞は、子どもたちの主体性を引き出し、すばらしい成果をあげている先駆性・独自性のある教育実践で、波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献に贈られます。さらに、博報賞受賞者の中で特にすぐれた実践がある場合には、「文部科学大臣賞」も併せて授与されます。

また、博報賞には及ばないものの、一定以上の功績をあげている長年の貢献には功労賞を、今後の活躍に期待ができる活動には奨励賞を設けております。

受賞者には、正賞（賞状）と副賞金をお贈りします。各受賞者への副賞金は、博報賞100万円、功労賞50万円、奨励賞30万円としています。

■本年度（2024年度）の受賞者

博報賞8件（うち1件は、文部科学大臣賞も併せて受賞）、功労賞6件、奨励賞4件

受賞者および活動タイトルについては、別紙「受賞者一覧」をご覧ください。

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、児童および青少年の健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。以降、「子ども・ことば・教育」を活動領域ととらえ、さまざまな活動を行っています。

50回を超える開催となった児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」「海外の子どもたちの日本語教育支援」「世界の子どもたちとの日本語交流」「社会啓発事業（子どもたちの読書機会拡大）」さらに「こども研究所」などの活動を行っています。

■本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当

TEL: 03-6206-6266（平日9:30～17:30）

E-mail: hakuhoushou@hakuhodo.co.jp

2024年10月11日

第55回（2024年度）「博報賞」受賞者一覧

◆博報賞・文部科学大臣賞 1件

都道府県	受賞者名	活動タイトル
山口県	下関市立本村小学校 ^{ほんむら}	平家踊りの伝統を受け継ぐ ～コミュニティ・スクールの仕組みを活用して～

◆博報賞 7件

宮城県	ことばの貯金箱「夢」プロジェクト	「ことばの貯金箱にことばをいっぱい貯めて、 ことばの億万長者になろう！」
東京都	特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	子どもの社会参画を～世界は変えられる、 子どもがそう信じられる社会に～
神奈川県	石川 正明 ^{まさあき} (横浜市立吉原小学校 教諭)	自己を表現し、他者を認める集団づくり ～句会を中心に据えた川柳の活動～
福井県	勝山市立成器西小学校 ^{せいきにし}	学校と地域でつなぐ左義長まつり
愛知県	認定NPO法人 プラス・エデュケート	ゼロレベルから3か月で話せるようにする 子どもへの日本語指導と教材開発
三重県	三重県立特別支援学校北勢きらら学園 ^{ほくせい}	子どもたちの学びを支えるために —医療的ケアに関する26年の取組—
大阪府	NPO法人 おおさかこども多文化センター	絵本を使った多文化理解教育・交流と母語・ 母文化の継承支援のための活動

◆功労賞 6件

秋田県	大仙市立大曲南中学校 ^{おおまがり}	ストーリーとネットワークで紡ぐ「ESD for SDGs」
長野県	社会福祉法人 まるこ福祉会 チームまるこ	震災の復興支援を原点に、子ども中心に 生きる力を育む社会貢献プロジェクト
広島県	北広島町教育委員会	北広島町全体の学校で取り組む 児童生徒自画像展
福岡県	北九州市立合馬小学校 ^{おうま}	地域と一緒に児童の自己肯定感を高める 地域交流活動の推進
熊本県	熊本市立芳野小学校 ^{よしの}	ふるさと芳野を誇る心情を育む 夏目漱石を由来とした俳句活動
大分県	臼杵市立臼杵南小学校 ^{うすき}	伝統芸能の灯を地域につなぐ —棒術を教育課程に取り入れた実践活動の報告—

◆奨励賞 4件

神奈川県	横浜市立南吉田小学校	多文化共生の学校づくり ～多文化共生教育と誰ひとり取り残さない支援～
神奈川県	手塚 裕美子 ^{ほんちゆう} (横浜市立本町小学校 教諭)	本物の「ひと」「こと」「もの」に触れた体験活動 ～キラにこ3組大道芸～
新潟県	上越市立三和中学校 ^{さんわ}	地域と連携した活動による 「ふるさと三和を愛する子ども」の育成を目指して
愛知県	岡崎市小中学校現職研修委員会 長期欠席対策部会	校内フリースクールと夜間学級による 長期欠席対策とその理念の展開と進化

(敬称略／各賞都道府県順)